

平成28年8月北海道大雨激甚災害の状況等

被災後10年を振り返って

令和8年5月25日
帯広開発建設部

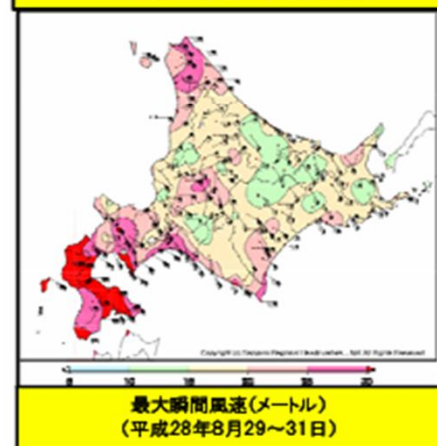
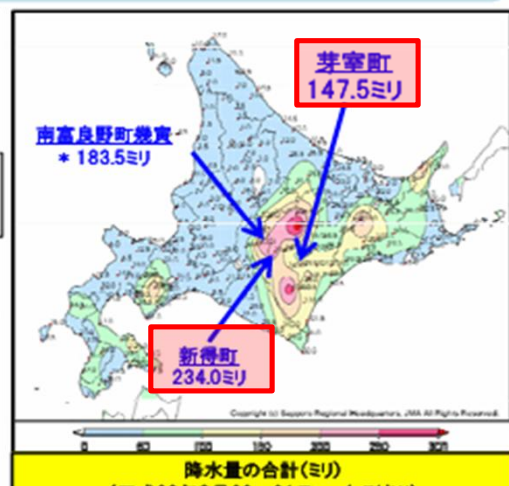
1. 大雨をもたらした気象の概況について

平成28年台風第10号及び8月の大雨の状況

札幌管区气象台提供

平成28年台風第10号について

- 北海道地方は、8月29日～31日にかけて台風第10号の接近・通過に伴い、太平洋側の東斜面を中心に総雨量**200～300ミリ**の**大雨**となった。
- また、道南地方を中心に35メートルを超える最大瞬間風速を観測した。
- このため、**河川の増水や氾濫による浸水被害や土砂災害、突風被害**が発生した。

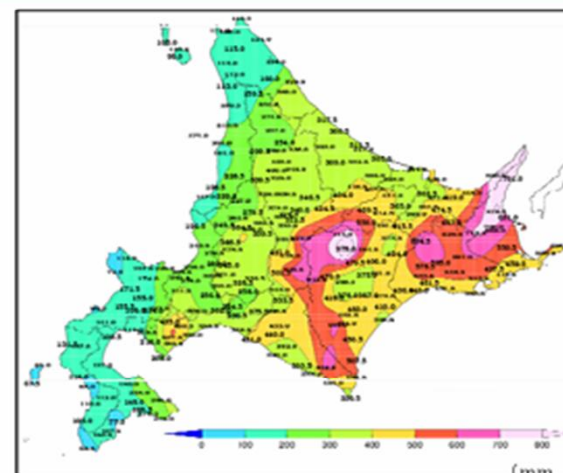


観測所名	自治体名	最大瞬間風速(m/s)	観測所名	自治体名	降水量合計(mm)
高松	函館市	* 36.5	ぬかびら	芽室町	332.0
せたな	せたな町	36.5	上札内	中札内村	278.0
伊達	伊達市	35.2	新得	新得町	234.0
浦河	浦河町	* 34.7	三股	上士幌町	226.5
奥尻	奥尻町	34.6	阿寒湖畔	網走市	219.0
函館	函館市	34.2	半島	網走市	212.5
森	森町	33.7	大滝	伊達市	208.0
寿都	寿都町	32.7	釧路	南富良野町	* 183.5
室蘭	室蘭市	32.7	釧路	釧路市	168.5
松前	松前町	32.1	釧路	釧路市	152.5

北海道のアメダスの最大瞬間風速(上位10)
(平成28年8月29～31日)
*: 欠測ありを示す
☆: 8月の極値を更新したことを示す

平成28年8月の北海道の降水の状況

- 道内アメダス225地点中、“**89地点**”で、**月の降水量の極値(1位)更新**し、道東の太平洋側の広い地域で平年の2～4倍となる500ミリを超える降水量となった。



<月降水量(多い方から)の極値を更新した地点(上位20地点)>

	1位(2016年8月)	2位	1位と2位の差(比)	8月の平年値(比)
1 ぬかびら 芽室町	978.0 mm	575.0 mm (1981年 8月)	403.0 mm (170%)	197.9 mm (494%)
2 いしかり 中札内	819.0 mm	477.0 mm (1984年 9月)	342.0 mm (172%)	169.5 mm (483%)
3 三股 上士幌町	800.5 mm	507.0 mm (1981年 8月)	293.5 mm (158%)	119.3 mm (671%)
4 新得 新得町	791.0 mm	392.5 mm (2012年 11月)	398.5 mm (202%)	---
5 大滝 伊達市	719.5 mm	278.0 mm (2009年 7月)	441.5 mm (259%)	---
6 上士幌 上士幌町	714.0 mm	354.5 mm (2011年 9月)	359.5 mm (202%)	---
7 釧路 釧路市	700.0 mm	344.0 mm (2009年 7月)	356.0 mm (203%)	136.2 mm (514%)
8 阿寒湖畔 網走市	694.5 mm	451.0 mm (1981年 8月)	243.5 mm (154%)	152.2 mm (456%)
9 中札内 中札内村	666.0 mm	345.0 mm (1984年 9月)	321.0 mm (193%)	147.8 mm (451%)
10 三股 上士幌町	646.5 mm	590.0 mm (1981年 7月)	56.5 mm (110%)	246.1 mm (263%)
11 新得 新得町	631.0 mm	359.0 mm (1982年 9月)	272.0 mm (176%)	137.8 mm (458%)
12 上士幌 上士幌町	629.0 mm	421.5 mm (2011年 9月)	207.5 mm (149%)	179.7 mm (350%)
13 いしかり 中札内	625.5 mm	343.0 mm (2001年 9月)	282.5 mm (182%)	161.7 mm (387%)
14 三股 上士幌町	613.5 mm	455.0 mm (1981年 8月)	158.5 mm (135%)	196.7 mm (312%)
15 上士幌 上士幌町	601.5 mm	594.0 mm (1981年 8月)	7.5 mm (101%)	188.9 mm (318%)
16 上士幌 上士幌町	595.0 mm	360.0 mm (1988年 8月)	235.0 mm (165%)	129.0 mm (461%)
17 上士幌 上士幌町	591.0 mm	371.0 mm (1982年 9月)	220.0 mm (159%)	136.7 mm (432%)
18 中札内 中札内村	578.5 mm	345.0 mm (2000年 4月)	233.5 mm (168%)	167.3 mm (346%)
19 上士幌 上士幌町	550.5 mm	408.0 mm (1982年 9月)	142.5 mm (135%)	141.5 mm (389%)
20 上士幌 上士幌町	550.0 mm	267.0 mm (2006年 8月)	283.0 mm (206%)	---

): 観測値は欠測あり。

2. 道路部門における対応状況等について

道路の主な被害状況

●被災箇所位置図

- 被災区間：日高町千栄～清水町清水間の延長 43.0km
- 被災内容：落橋等による橋梁損傷 10 箇所、道路本体の大規模欠損 6 箇所、覆道損傷 3 箇所、その他損傷 47 箇所、計 66 箇所
- 被災原因：「河川氾濫」と「土石流・表面水」



▼④帯広側7合目盛土崩壊



被災した道路の復旧状況

▼④帯広側7合目盛土崩壊



【平成29年6月14日 盛土工事中】



【平成29年10月20日 復旧工事完了】

被災を踏まえて検討・対応した課題

●TEC－FORCE支援

日勝峠周辺での被害が大きかった台風10号については、道外の地方整備局（関東、中国、四国）からの支援を受け、北海道開発局の職員と合わせて延べ866人のTEC－FORCE隊により、迅速に被災状況を把握。

●被災状況調査の工夫

国道274号日勝峠においては、被災翌日から車両進入困難な箇所を徒歩、自転車による移動、落橋箇所でのゴムボートによる渡河やヘリコプターによる移動等様々な工夫により、迅速に被災状況を把握。

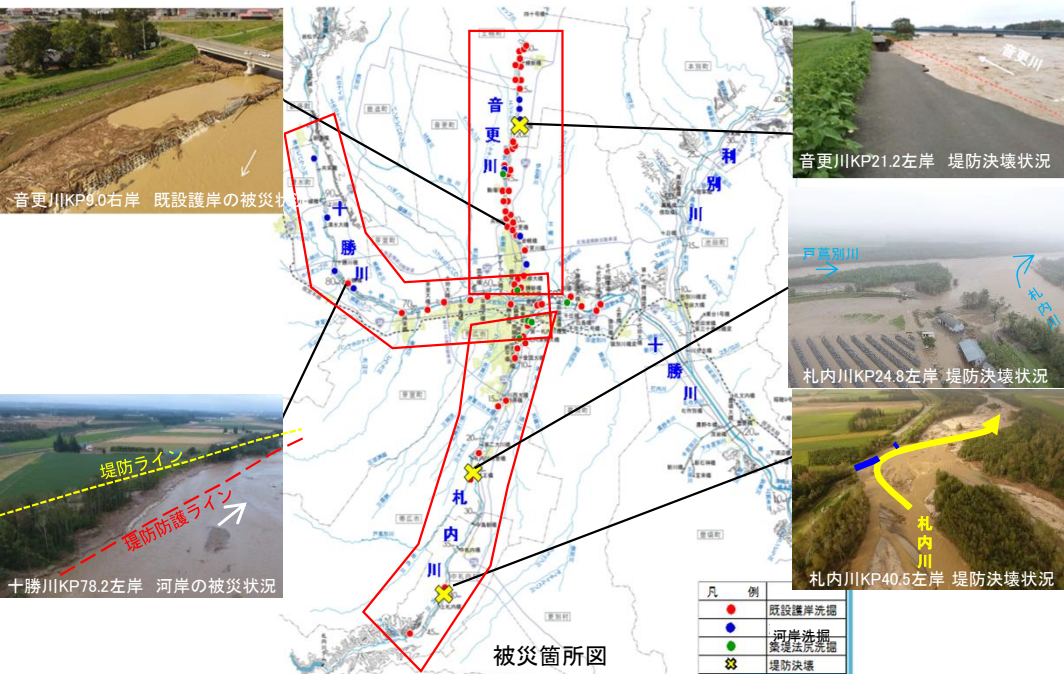
●ICT技術の活用

④帯広側日勝峠7合目盛土崩壊箇所では、UAVによる起工測量、ICT建設機械による施工により、施工日数が従来手法に比べて約8割に短縮

3. 河川部門における対応状況等について

河川の主な被害状況

8月下旬の台風の接近に伴う大雨により、道東を中心に被害が発生した。



被災した河川堤防の復旧状況

・音更川KP21.2左岸



・札内川KP24.8左岸



被災を踏まえて検討・対応した課題

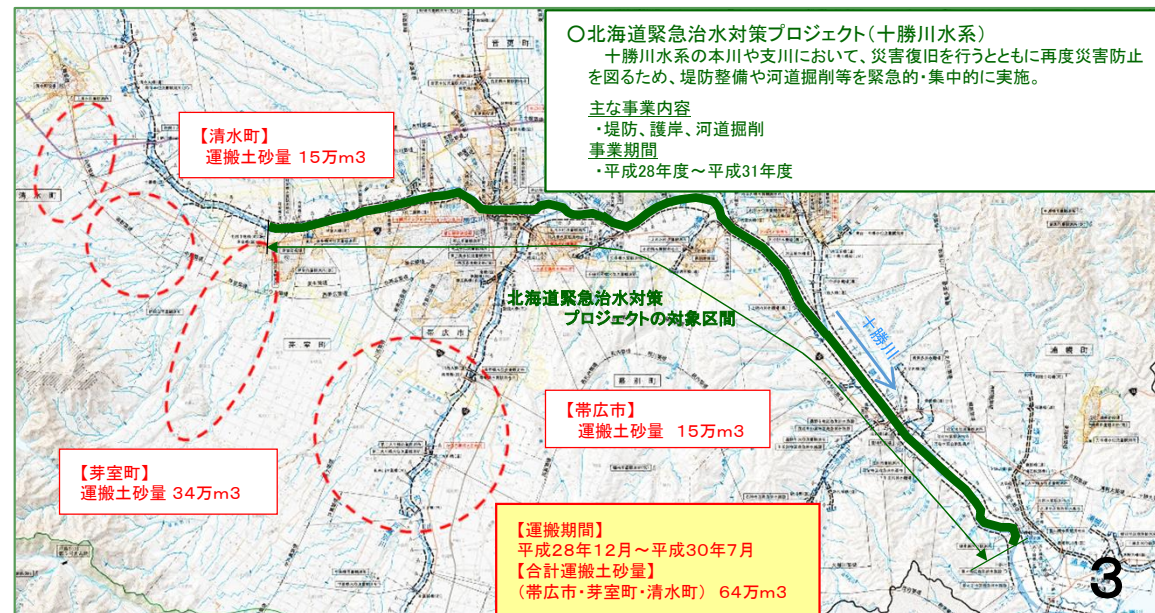
【十勝地方における取組】

十勝川流域の農地では、表土流出などの大きな被害が発生。これら農地の迅速な災害復旧を図るため、帯広市、清水町、芽室町、十勝総合振興局、関係するJA、帯広開発建設部などを構成員とする「平成28年度大雨災害に係る農地の災害復旧工事と河川工事との十勝地方連絡調整会議」により土砂が必要な地域の確認、河川掘削土の発生状況等の情報を共有、調整し、必要な箇所へ掘削土を運搬した。

帯広開発建設部では、河川事業による農地の災害復旧支援のため、十勝川の河道掘削土を運搬し提供。

・総運搬土量: 64万m³

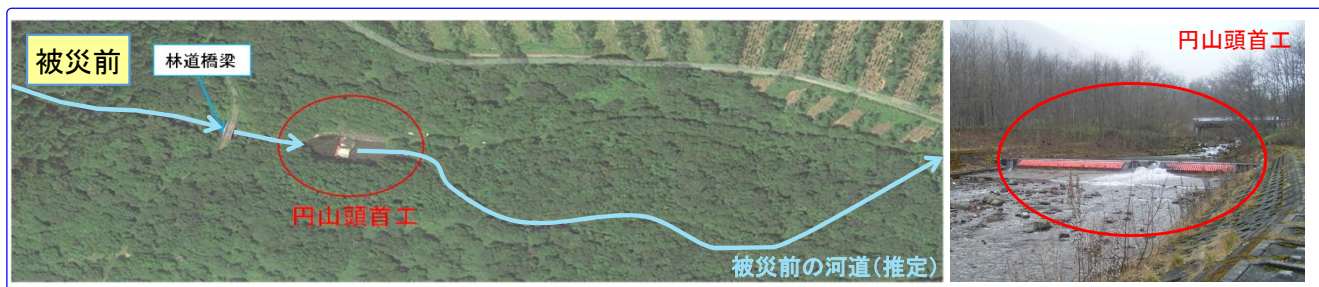
・運搬期間: 平成28年12月～平成30年7月



4. 農業部門における対応状況等について

農業水利施設の主な被害と復旧状況

- 台風10号の豪雨に伴う河川の氾濫により、頭首工が埋没しかんがい用水が取水できなくなる機能喪失が生じるなど、農業水利施設にも甚大な被害が発生



【御影地区】円山頭首工の現在（令和8年5月撮影）



被災を踏まえて検討・対応した課題

【課題】

- 現道の大規模損壊により、被災箇所に徒歩でも進入出来ない
- 作付作物のため、早期のかんがい用水確保が必要
 - ・ 早期に対応するため、暫定的な復旧による取水
 - ・ 本復旧による安定的な取水

【対応】

- UAVなどのICTを活用した調査
- 被災後、2か月で暫定的な取水を開始するとともに、本復旧の工事に着手（直轄災、補助災）
- 2か年で本復旧完了